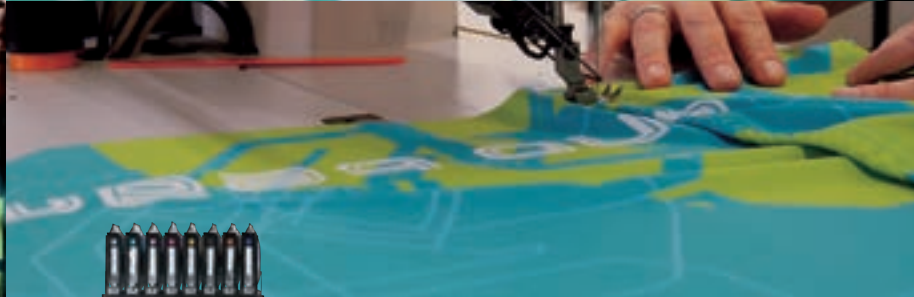


**Texart**  
RT-640



## DG Value News

第35期中間のご報告 2015年4月1日～2015年9月30日



Vision  
ビジョン

# イメージをカタチに

私たちローランド ディー.ジー.は「イメージをカタチにする」ソリューションを世界中の人々に提供し、新たな創造の世界を切り拓いていくことを目指しています。

私たちは、Imagine.(想像)こそがすべての分野における創造の原点であると考え、お客様が描いているImagine.の世界を大切に、お客様とともに「想像を超える創造」を実現していきます。

## ▶世界200以上の国と地域で

当社グループの販売力を活かし、世界200以上の国と地域のお客様に製品やサービスを提供しています。

● 連結販売子会社



## ▶独創的な事業展開

カラー事業と3D事業の2分野を中心に、デジタル技術でものづくりを効率化するソリューションを提案しています。

### カラー事業



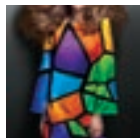
屋内外の大型看板やポスターなどを製作するサイン業界に向けて、業務用大型インクジェットプリンターなどを展開しています。

### 3D事業

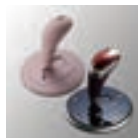


製造業やヘルスケア分野などに向けて、刃物を使って形状を削り出す3D切削加工機やデジタル彫刻機、3Dプリンターなどを提案しています。

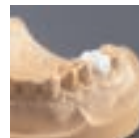
### デジタル印刷



### 製造業



### ヘルスケア



### パーソナル





## 企業スローガン

## 創造の喜びを世界にひろめよう BIGGESTよりBESTになろう 共感を呼ぶ企業にしよう

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第35期第2四半期(2015年4月1日～2015年9月30日)が終了いたしましたので、事業の概況および連結決算のご報告を申し上げます。

2015年12月



取締役社長

冨岡昌弘

### ● 第35期第2四半期 連結業績

当第2四半期における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調が続きましたが、新興国経済の成長鈍化や東欧・中東などにおける地政学的リスクなどの影響により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような中、当社では、付加価値の高いソリューションの提供により市場の活性化を図るとともに、新たな成長市場の開拓に取り組んでまいりました。

その結果、売上高については、新しい印刷分野に向けたプリンターなどが堅調に推移したこともあり、増収となりました。一方、営業利益は、原価率の上昇や販売費及び一般管理費の増加により、前年同期を下回りました。また、経常利益は、子会社の為替差損があった影響で減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ソフトウェア資産の除却などによる特別損失を計上したことにより、前年同期を下回る結果となりました。

### ■ 第35期第2四半期 連結業績

	第34期第2四半期 連結業績(補正後)	第35期第2四半期 連結業績	前年同期比 (補正後)
売上高	320億57百万円	326億27百万円	101.8%
営業利益	36億15百万円	26億72百万円	73.9%
経常利益	33億00百万円	23億10百万円	70.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	19億69百万円	11億89百万円	60.4%

※ 当社では、第35期(2015年度)より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。経過期間となる当第2四半期につきましては、当社は4月1日から9月30日までの6ヶ月間、連結子会社は1月1日から9月30日までの9ヶ月間を連結対象期間としております。なお、前年同期比については、前年同期実績を当連結対象期間と同一の期間に調整した数値に補正して比較しております。

## 事業の概況

## ● 品目別売上高

## ■ プリンター(140億54百万円／前年同期比96.5%)

主力のサイン(広告・看板製作)市場への提案に加え、多様な素材に印刷できるUVプリンターや布地への印刷用途に特化したテキスタイル用プリンターによる新たな印刷市場の開拓に注力しています。

当期間では、サイン市場におけるニーズの変化にともない、導入しやすい価格帯の製品が堅調に推移しましたが、高価格帯のプロ用機種が伸び悩みました。UVプリンターでは、スマートフォンケースやノベルティなどに写真やイラストを印刷するオリジナルグッズ製作用途の小型UVプリンターが順調だったことに加え、厚みのある材料に直接印刷を行う大型UVプリンターが、サイン用途を中心に伸長しました。また、ユニフォームやオリジナルウェアを製作する用途において、テキスタイル用プリンターの導入が進みました。

## ■ プロッタ(10億11百万円／前年同期比108.4%)

今年1月に発売したカッティングマシンの新製品が好調に推移し、売上を牽引しました。

## ■ 工作機器(24億75百万円／前年同期比95.8%)

従来からの主力市場である製造業や彫刻業に加え、デジタル化のニーズが高まるヘルスケア分野やパーソナル分野に向けた取り組みに注力しています。

当期間では、歯科医療向けに提案しているデンタル加工機の売上が、前期の好調要因となった日本における歯科技工所の設備投資特需が一巡した影響で減少しました。しかしながら、歯の詰め物や被せ物の製作プロセスをトータルに提案できる体制作りや、販売網の整備・拡充が世界各地域で順調に進んでおります。9月には、当社初となるウェット方式を含む新製品2機種を市場に投入しました。一人ひとりに合った治療やサービスが必要とされる歯科医療をはじめとするヘルスケア分野は、デジタル技術やものづくりのノウハウといった当社が持つ強みを発揮できる分野であり、今後も成長市場と位置づけて、さらなる事業拡大を図ってまいります。

## ■ サプライ(106億83百万円／前年同期比106.4%)

プリンターの導入にともないインクなどの売上が増加しました。

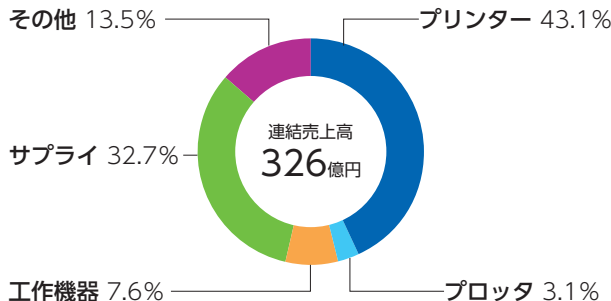
## ■ その他(44億1百万円／前年同期比111.7%)

製品の保守契約やサービスパーツなどの売上が増加しました。

## 品目別売上情報

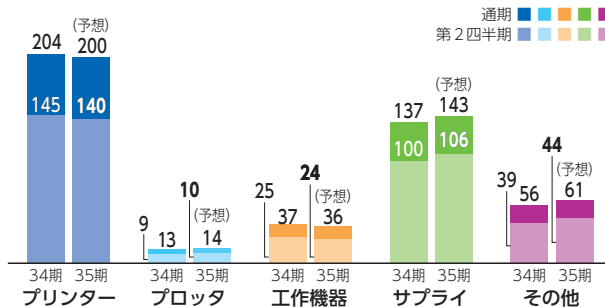
(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 売上高構成比(第35期第2四半期)



## ● 売上高推移(補正後)

(単位: 億円)



## ● 地域別売上高

### ■ 日本(23億33百万円／前年同期比97.2%)

オリジナルグッズ製作用途の小型UVプリンターなどが堅調でしたが、デンタル加工機の売上が前期の設備投資特需の反動により減少しました。

### ■ 北米(99億59百万円／前年同期比115.1%)

プリンターの低価格機種や大型UVプリンターなどが好調に推移したことに加え、円安効果もあり、前年同期を上回りました。

### ■ 欧州(118億60百万円／前年同期比100.9%)

プリンターの低価格機種やテキスタイル用プリンターが堅調でした。また、デンタル加工機が伸長したこともあり、為替によるマイナス要因があったものの、前年同期並みとなりました。

### ■ アジア(24億23百万円／前年同期比84.7%)

中国において、現地販売店の在庫調整や消耗部品の値上げによる影響を受け、プリンターの売上が減少しました。

### ■ その他(60億49百万円／前年同期比94.8%)

オーストラリアでは、プリンターの低価格機種やデンタル加工機などが堅調でした。一方、ブラジルにおいては、経済環境の悪化にともないプリンターの販売が低調に推移しました。

## ● 第35期通期 連結業績予想

主力のサイン市場においては、市場ニーズを捉えた製品展開と良質なサービス・サポートの提供により市場におけるシェアの維持・拡大を図ってまいります。また、引き続き新たな成長市場の開拓に注力していくことで、業績向上に努めてまいります。

なお、第35期の通期業績予想ですが、業績動向や今後の見通しを踏まえまして、期初業績予想の見直しを行いました。売上高および営業利益には変更ありませんが、第2四半期に計上しました子会社の為替差損や特別損失として計上しましたソフトフェア資産などの固定資産除売却損が通期にも影響するため、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想に比べ減少する見込みです。

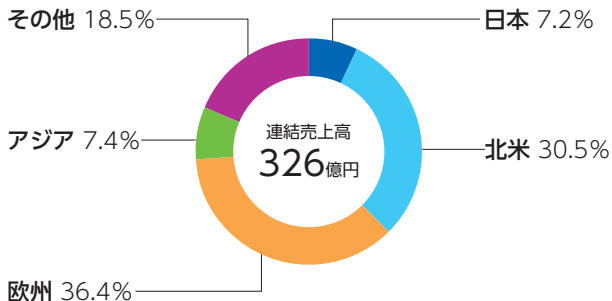
## ■ 第35期通期 連結業績予想

	<ご参考> 期初予想	第35期通期 連結業績予想(見直し後)	期初予想比
売上高	456 億円	456 億円	100.0%
営業利益	47 億円	47 億円	100.0%
経常利益	44 億円	42 億円	95.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	29 億円	24 億円	82.8%

## 地域別売上情報

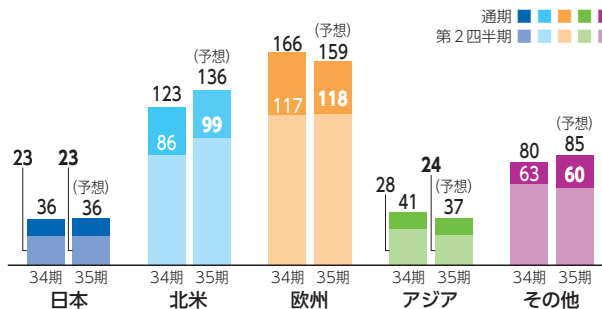
(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

### ● 売上高構成比(第35期第2四半期)



### ● 売上高推移(補正後)

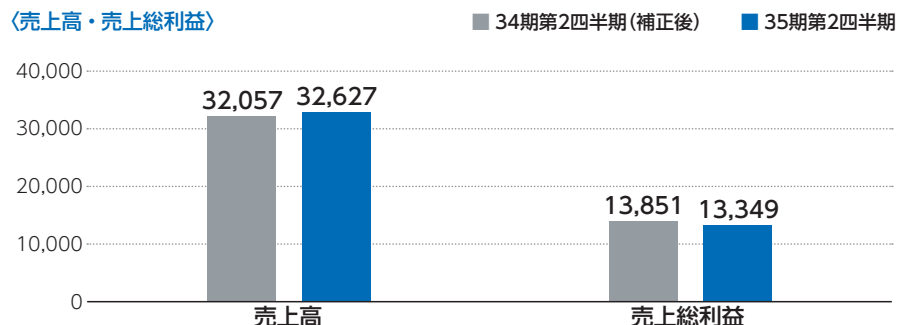
(単位: 億円)



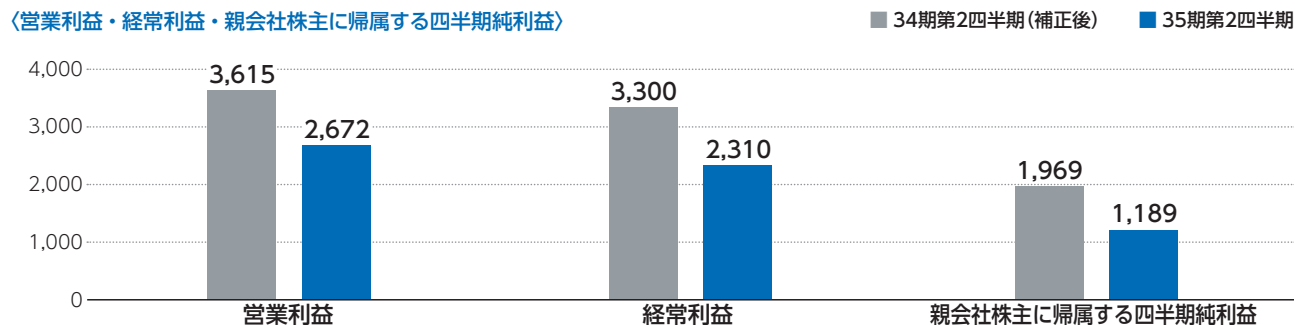


## ■ 四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

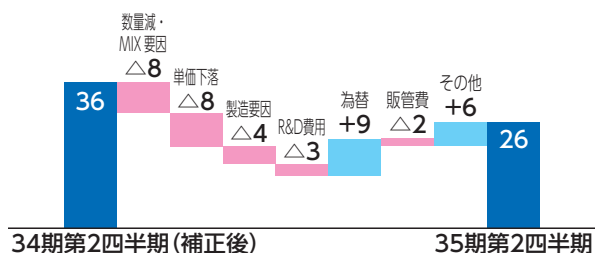
## 〈売上高・売上総利益〉



## 〈営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益〉



## 〈営業利益の変動要因〉 (単位：億円)



## POINT 連結損益計算書

売上高は、前年同期比1.8%増の326億円となりました。費用面では、売上原価率がサイン市場における販売単価の下落などで2.3%上昇し、販売費及び一般管理費も前年同期を4.3%上回りました。これにより営業利益は、前年同期比26.1%減の26億円となりました。経常利益は、子会社の為替差損などがあり、前年同期比30.0%減の23億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、ソフトウェア資産の除却などの影響もあり、前年同期比39.6%減の11億円となりました。

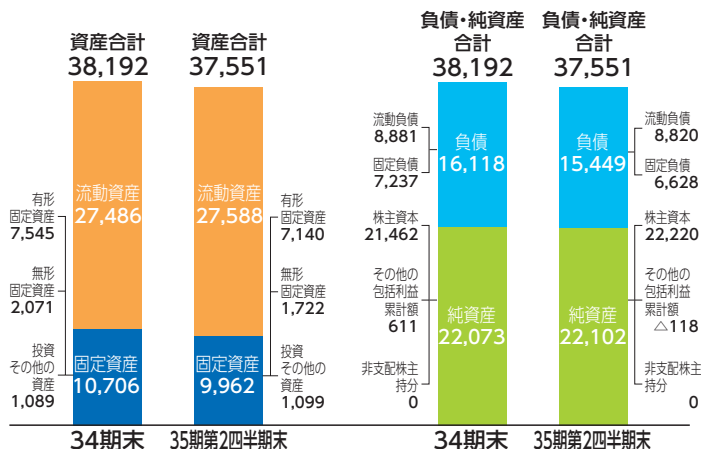


さらに詳しい情報につきましては、下記のIRサイトをご覧ください。  
<http://www.rolanddg.co.jp/ir/>

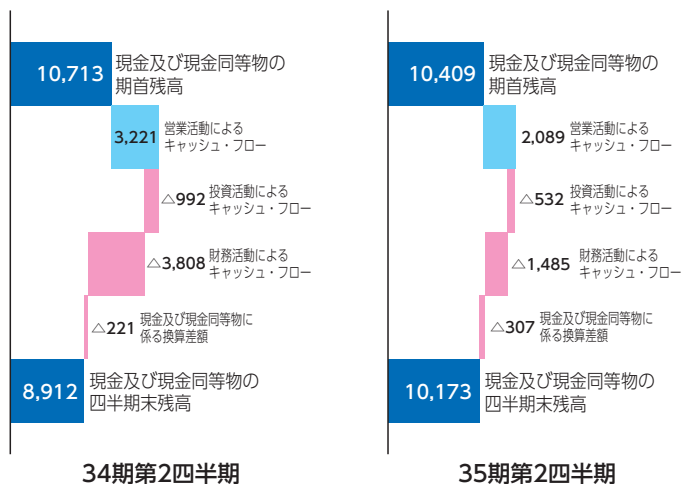
ローランド ディー.ジー. IR

検索

## ■ 四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



### POINT 連結貸借対照表

流動資産では、繰延税金資産が2億円増加し、その他の流動資産が4億円増加しました。一方、現金及び預金、受取手形及び売掛金がそれぞれ2億円減少しました。固定資産では、建物及び構築物等の有形固定資産が4億円、のれん等の無形固定資産が3億円それぞれ減少しました。

流動負債では、支払手形及び買掛金が5億円増加した一方で、短期借入金が3億円減少し、固定負債では、長期借入金が7億円減少しました。

純資産では、当期の業績にともなう増加があるものの、その他の包括利益累計額に含まれる為替換算調整勘定が7億円の減少となりました。

### POINT 営業活動によるキャッシュ・フロー

増加要因は、未払金等のその他の流動負債の減少額が前年同期に比べ小さくなったことや、法人税等の支払額が減少したことなどによります。減少要因は、税金等調整前四半期純利益が減少したことや、売上債権が増加し、仕入債務が減少したことなどによります。

### POINT 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の預入による支出が減少し、また、無形固定資産の取得による支出は増加したものの、それ以上に有形固定資産の取得による支出が減少しました。

### POINT 財務活動によるキャッシュ・フロー

前年同期は主に公開買付けによる自己株式の取得を目的とした調達で短期借入金の純増減額が80億円増加した一方で、自己株式の取得代金として115億円の支出がありました。当期間は、短期借入金や長期借入金の返済による支出がありますが、全体として支出額は減少しました。



## 第34期定時株主総会のご報告

6月17日、静岡県浜松市のオークラアクトシティホテル浜松において第34期定時株主総会を開催し、前年より約30名増の220名の株主様にお越しいただきました。総会では、社長の富岡より事業活動の報告をはじめ、中期経営計画の進捗状況、今後の展望について説明させていただきました。展示コーナーでは、テキスタイル(布地)向けプリンターRT-640、新しいデジタルものづくりを提案するmonoFabシリーズ、ヘルスケア分野に向けたデンタル加工機および浜松医科大学と共同で構築した医療器具の保全管理システムなど、現在注力している分野への製品を展示しました。特に歯科医療業界への取り組みに興味をお持ちの株主様が多く、ヘルスケア分野の事業展開に高い関心が寄せられました。今後も株主様と直接対話ができる場としてご満足いただくことができる株主総会の運営に努めるとともに、株主様のご期待に添えるよう新規事業の確立に注力してまいります。



株主総会の様子



展示コーナー



## RT-640の印刷プロセスが繊維製品の国際安全規格認証を取得

テキスタイル向けインクジェットプリンターRT-640による印刷プロセスが、繊維製品の安全規格である「エコテックス規格100」の「製品分類I」に認証されました。エコテックス規格100は、繊維製品などに身体に有害な物質が含まれていないことを証明する、全世界共通の試験・認証システムで、製品分類Iは36ヶ月までの乳幼児が触れる繊維製品に対する安全性を認証するものです。



Texart  
RT-640

### Digital Printing 事業開発本部 本部長 前田祐子

当社では、2013年に発表された中期経営計画に基づき、デジタル印刷技術を最大限に活かすことができる新たな成長分野として、衣服やインテリア用品などテキスタイルへの印刷用途に着目し、2014年10月に専用機であるRT-640を世界同時発表しました。サイン事業で培ってきた技術とノウハウを盛り込み、テキスタイルに求められる鮮やかな発色と生産性にこだわりました。RT-640の印刷対象はポリエステル素材に限られますが、その生産量は年々増加しています。吸水速乾性や抗菌消臭、接触冷感、蓄熱保温などの機能を盛り込んだ高機能ポリエステルも普及し始めています。高精細な印刷表現はもちろんのこと、直接肌に触れる肌着や衣類などへの印刷で、乳幼児をはじめとするあらゆる方に安心してご着用いただける「安全性」も追求していきたいと考えています。当社のデジタル印刷技術で、ユーザーの皆様のプリントビジネスの競争力がさらに高まることを確信しています。







## 浜松医科大学と共同で医療器具・機材の 保全・管理にかかわる作業支援システムを構築

当社は、国立大学法人浜松医科大学と共同で医療器具の管理を効率化する作業システムを開発し、同附属病院内へ導入いたしました。当社の医療器具用マーキング装置MPX-90Mと当社独自の生産システムであるデジタル屋台を応用したもので、メスや鉗子などの器具にMPX-90Mで特殊なバーコードを打刻し、読み取り専用端末にかざすことで使用履歴や品質、在庫管理を行います。さらに、600種類以上もある手術用具セットは、それぞれ洗浄・滅菌方法など取り扱いが異なり、紙の作業指示書を見ながらの作業は人的ミスの懸念がありました。作業支援環境のネットワークを整備し、作業指示書をデジタル化することで洗浄・滅菌工程の標準化が図られ、作業品質の均質化を実現することができました。この取り組みは、経済産業省の「産学連携評価モデル」として活動してまいりましたが、2018年度からは医療機関へソリューションシステムを販売する事業として展開する予定です。



浜松医科大学附属病院内で導入されている共同開発の作業支援システム



## 歯の詰め物や被せ物を製作する デンタル加工機の新製品、2機種を発表！

当社の3D製品の開発コンセプトである「デスクトップサイズ・簡単操作・導入しやすい価格帯」を継承した、デンタル加工機DWXシリーズの新製品として、当社初となるウェット方式のDWX-4Wと新開発のDWX-51Dを同時発表しました。DWX-4Wで採用しているウェット方式は、加工時の摩擦熱を除去するために水をかけながら加工する方式で、高強度を誇るガラスセラミックス素材の加工に最適です。DWX-51Dは、世界中の歯科技工所で高い評価を得ている5軸制御DWX-50の後継機として、さらなる加工精度とユーザビリティを追求して開発されました。ウェット方式とドライ方式、2つの専用機を組み合わせることで、作業効率の向上と化学の進歩とともに続々と生み出される新材料や需要量に柔軟に対応できる当社の独自のソリューション「DRY&WET(ドライ&ウェット)」を提案してまいります。



DWX-4Wのウェット加工の様子



ガラスセラミックス



**DWX-4W**



**DWX-51D**

## ■ その他の関係会社の異動に関するお知らせ

8月17日付で当社のその他の関係会社であったローランド株式会社が出した大量保有報告書の変更報告書を確認した結果、当社議決権の所有割合が24.76%から18.96%となり、同社は当社のその他の関係会社に該当しないこととなりました。なお、同社は引き続き当社の主要株主である筆頭株主であります。

### 異動前後におけるローランド株式会社の所有する議決権の数および議決権所有割合

	属性	議決権の数(議決権所有割合)		
		直接所有分	合算対象分	合計
異動前 (2015年3月現在)	その他の関係会社	35,600 個 (3,560,000株) (24.76%)	一個 (一株) (-%)	35,600 個 (3,560,000株) (24.76%)
異動後	主要株主	27,267 個 (2,726,700株) (18.96%)	一個 (一株) (-%)	27,267 個 (2,726,700株) (18.96%)

(注1) 異動前および異動後の総株主の議決権の数および所有割合は、2015年3月31日の株主名簿を基準として算出しております。

(注2) 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 6,511 株

発行済株式総数 14,385,511 株

(注3) 議決権所有割合は、小数点以下第 3 位を四捨五入しております。

## DG Value News アンケート集計結果

期 間：2015年6月18日から2015年9月30日

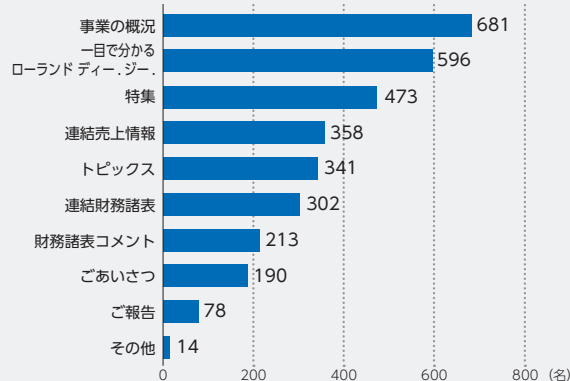
回答数：1,314名(2015年3月31日現在の株主数10,828名)

当社が提供する新しい価値を株主の皆様へわかりやすくお伝えできるよう、アンケート結果を参考にさせていただくとともに、株主の皆様からいただいた貴重なご意見・ご要望は今後の経営に活かしていきたいと考えております。下記にアンケート集計結果の一部をご紹介します。

### Q 本誌をお読みにたり、興味を持たれた項目をお聞かせください(複数回答可)

当社グループは、第35期より海外連結子会社と決算期を統一しました。経過期間となる第35期は当社が2015年4月1日から12月31日までの9ヶ月、海外連結子会社は従来通り1月1日から12月31日までの12ヶ月が対象期間の変則決算となります。本誌では、前年同期実績を当連結対象期間と同一の期間に補正した数値を掲載しております。

今後も理解いただきやすい業績解説、事業報告を目的としたユーザビリティに配慮した誌面作りに取り組んでまいります。





## 会社情報 / 株式情報 (2015年9月30日現在)

## 会社概要

商号	ローランド ディー.ジー.株式会社
設立	1981年5月1日
資本金	3,668,700,000円
主な事業内容	コンピュータ周辺機器の製造販売
従業員数	1,227人(連結)

## 役員一覧

取締役会長兼社長 <sup>*1</sup>	富岡 昌弘
取締役副会長	ロバート・カーチス
取締役副社長	藤岡 秀則
専務取締役	鈴木 渉
常務取締役	堀田 修史
取締役	デビッド・ゴワード
社外取締役 <sup>*2</sup>	広瀬 卓生
社外取締役 <sup>*2</sup>	晝馬 明
社外取締役 <sup>*2</sup>	奥田 千恵子
監査役	中川 正則
監査役	鈴木 正康
社外監査役 <sup>*2</sup>	遠藤 克博
社外監査役 <sup>*2</sup>	松田 茂樹

<sup>\*1</sup> 代表取締役です。

<sup>\*2</sup> 社外取締役 広瀬卓生氏、晝馬明氏および奥田千恵子氏、社外監査役 遠藤克博氏および松田茂樹氏は、(株)東証証券取引所が定める独立役員です。

## 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## 事業所

本社	浜松市北区新都田一丁目6番4号
都田事業所	浜松市北区新都田一丁目1番3号
営業所	東京、名古屋、大阪、福岡
サポートセンター	札幌、仙台、広島

## 海外グループ会社

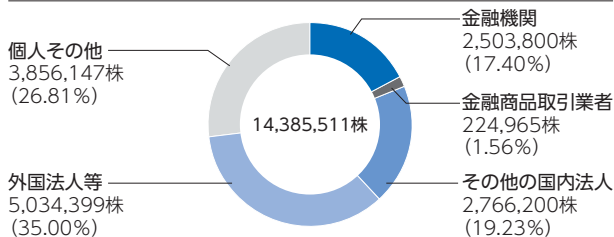
Roland DGA Corporation (アメリカ)  
 Roland DG Benelux N.V. (ベルギー)  
 Roland DG (U.K.) Ltd. (イギリス)  
 Roland Digital Group Iberia, S.L. (スペイン)  
 Roland DG Mid Europe S.r.l. (イタリア)  
 Roland DG North Europe A/S (デンマーク)  
 Roland DG Australia Pty. Ltd. (オーストラリア)  
 Roland DG (China) Corporation (中国)  
 Roland DG Korea Inc. (韓国)  
 Roland DG Brasil Ltd. (ブラジル)  
 Roland DG EMEA, S.L. (スペイン)  
 Roland Digital Group (Thailand) Ltd. (タイ)  
 Roland DG Deutschland GmbH (ドイツ)  
 Roland DG Europe Holdings B.V. (オランダ)  
 Roland DG RUS LLC (ロシア)

## 株式の状況

発行可能株式総数	71,200,000株
発行済株式の総数	14,385,511株
株主数	9,739人

株主名	持株数	出資比率
ローランド株式会社	2,726,700株	18.95%
TAIYO FUND, L.P.	2,012,100株	13.99%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	506,500株	3.52%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	464,900株	3.23%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	432,500株	3.01%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	417,600株	2.90%
BNYML - NON TREATY ACCOUNT	323,600株	2.25%
ローランド ディー.ジー.社員持株会	317,700株	2.21%
富岡昌弘	312,600株	2.17%
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	293,100株	2.04%

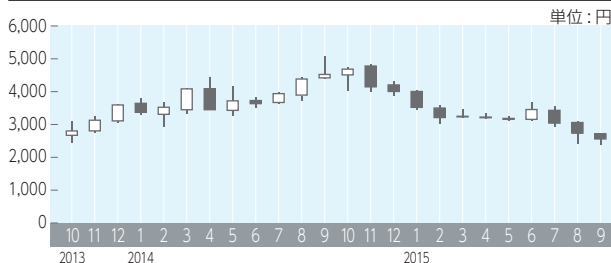
## 所有者別状況



<sup>\*</sup>自己名義株式3,000株は「個人その他」、証券保管振替機構名義株式8,500株は「その他の国内法人」に含まれています。

<sup>\*</sup>記載比率は、小数点第2位未満を四捨五入して表示しています。

## 株価の推移



## 株主メモ

第35期より事業年度を変更いたしました。

事業年度	毎年1月1日から12月31日 (第35期は4月1日から12月31日までの9ヶ月)
定時株主総会開催時期	3月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日(第35期は9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告します。
公告方法	当社の公告は電子公告とし、 インターネットホームページに掲載します。 <a href="http://www.rolanddg.co.jp/ir/">http://www.rolanddg.co.jp/ir/</a> ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料) [受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
株主優待	2015年3月31日現在の1単元(100株)以上所有の株主様に、年1回当社が選んだ世界各国の名産品(3,000円相当)を掲載したオリジナルカタログの中から一品を選択していただくものです。(2015年6月実績)
本誌に関する お問い合わせ先	IR課 TEL 053-484-1400
株式・株主優待に 関するお問い合わせ先	総務課 TEL 053-424-5041

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内

当社では株主や投資家の皆様に当社を正しくご理解いただくとともに、最新情報を公平かつ迅速に提供することを目的に、ホームページを活用した情報開示を行っています。ぜひ、当社ホームページ「IR情報」をご覧ください。



### ● 最新IRイベント

直近の決算発表日や個人投資家向けのIRイベントへの出席など、IRに関する最新情報をお知らせしています。

### ● IRメール配信

メールアドレスをご登録いただいた方には、ニュースレターや決算情報などの最新情報をメールにてお知らせしています。

### ● はやわかりローランド ディー・ジー

「事業内容」や「業績」などの基本情報のほか、「当社の強み」や「当社製品の活用事例」などをわかりやすく紹介しています。

今後も皆様のご意見を反映させながら、IR活動の充実を図ってまいります。

<http://www.rolanddg.co.jp/ir/>

ローランド ディー・ジー・IR

検索

Imagine.  Roland  
<http://www.rolanddg.co.jp/>

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

